

第6学年「体育」の学力向上のための方策

児童の実態（成果と課題の分析）

- 成果** ○ 運動への関心・意欲が高く積極的に学習に取り組むことができている。
○ 明るく楽しく協力して学習に取り組むことができている。
- 課題** ▼ 意欲をもって学習に取り組むことはできているが、基礎的な動きや技能が身につけていない児童がいる。
▼ 協力して学習に取り組んでいるが課題解決へ向けての話し合い活動に苦手さがある。
▼ 運動は好きだが自分の体や自身の健康について児童自身が見つめ直すことができていない現状がある。

指導の重点（身に付けさせたい力）

- ◇ 各種の運動の基本的な動きや技能を身に付ける。
- ◇ 課題解決へ向け、自分や仲間の考えたことを他者に伝え、よりよい解決策を導く力を身に付ける。
- ◇ 自分の心と体と向き合い、心身の健康について考え明るく楽しい生活を送る態度を育てる。

具体的な改善策

主体的に学習に取り組む態度のための工夫

- 児童が自分の体や健康と向き合うことができるよう運動・心身の健康などの面から自己を分析させる。
- チームで協力している姿や仲間への声掛けをしている姿を取り上げて価値付けし、協力することの大切さや意義を実感させる。

言語活動の工夫

- 活動ごとにチームやグループで成果や課題を話し合わせ、相手意識をもち協力して課題解決に向かっていけるように指導する。

ICT活用の工夫

- タブレット端末を用いて自分の動きを撮影し、動画を見て課題を明確にして次に向け改善できるようにする。

課題解決力育成の工夫

- 学習で取り組んだ内容を振り返る時間を取り、次時へ向けての課題を明確にさせる。

達成目標

- 体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を見付け、その解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
- その特性に応じた各種の運動の行い方及び身近な生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な動きや技能を身に付けるようにする。
- 運動や健康についての自己の課題を見付け、その解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- 運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、楽しく明るい生活を営む態度を養う。